



「今日が楽しく明日が待たれる学校」

草の戸も住み替はる代ぞ 雛の家 ~時の流れに抗いながら~

「月日は百代の過客にして、行き交ふ年もまた旅人なり」の書き出しで始まる松尾芭蕉の『おくの細道』におさめられた有名な俳句です。意味は、「住み慣れてきたこのみすぼらしい草庵も、住み替わるべき時がきた。誰かあとで引っ越してくる人が、おひなさまを飾って華やかになることがあるだろう。」となります。芭蕉が『道祖神』に誘われて深川の草庵を後にし、奥州の旅に出立するにあたり詠んだ句です。季語は『雛』、季節は春です。

「風土」という言葉があります。『人間の文化の形成などに影響を及ぼす精神的な環境。』という意味です。そしてそれをさらに細かく分けて、「土の人」「風の人」という表現があります。私が初めてこの言葉を聞いたのは教員になりたての頃でした。先輩の先生から教わったのですが、『その土地にずっと住んでいる「土の人」と、よそからやって来たり、よそに住んだりしたことがある「風の人」。我々教員は、数年に一度異動があるから、風の人だ。』と教えられました。

昨年4月に着任して早いものでもう1年が経過します。この1年間、油津中学校の伝統や流れを受け継ぎつつ新たな取組を組み込みながら子どもたちの成長を見てきました。中でも私が心を動かされたのが、地域とのつながりの強さです。地域の中にも学校を積極的に取り込む行事が用意されており、子どもたちが積極的に参加する姿が見られました。特にボランティア活動。毎回多くの生徒の参加希望があり、調整が必要なほどでした。子どもたちの参加意欲の高さは今年始まったものではなく、伝統の中で培われたものだということがわかりました。今後も続けていってほしい良き伝統です。また、学習についても少しずつ向上してきています。ただこちらは、全員が一律にというわけにはいかず、個人によって差があるのも事実です。

このように成果と課題は種々あります。これらのことと改善して克服すべく、4月からまた頑張っていきたいと思いますので、本校の取組にご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いします。



奇跡の価値は ~偶然は必然 Lucky はたゆまぬ努力から~

端から見てうまくいっているようでも『全然いいことがない』と言う人がいます。向上心の表れとそれなくもないですが、努力している姿を見ていると、切ない気持ちになります。一方、端から見ても、それは大きな困難で、不幸にしか見えない状況でも、『いやいや、このくらいで済んだから、運が良かった』と言う人もいます。強がりからでしょうか?

『禍福はあざなえる縄のごとし』というように、人は生きていく上で、様々な苦悩と喜びを経験しながら生き、生き抜いていきます。そしてその折々の受け止め方で、その後が大きく変わると思います。人には『思い癖』があります。たとえば落ち込むことがあった際に、「今はこういう学びが必要なのだ」と考える人と「自分はダメだなあ」と考える人。もちろん失敗をしたときに振り返って反省することは必要ですが、ネガティヴに考えすぎて自己否定をする必要はないです。少しのことでめげてクヨクヨすることなく、失敗や挫折、苦労を『経験』として振り返り前に進むしなやかさが大切ですね。そして私が最も大切だと思うのは、『(少しずつでも) 表情(気持ち)を明るくすること』です。長い感染症対策でマスク生活を余儀なくされ、表情がわかりづらい日々がつづきました。しかし、少し見えている目や眉で表情はわかります。自分の表情が明るくなれば、それは周囲に伝わり、やがて良い雰囲気が自分にも返ってくるという好循環が生まれます。失敗を成功の糧にして次に進むポジティブさ、周囲が明るくなる表情を身につけ、自己肯定感を高めましょう。自己肯定感が高く、明るく前向きな人に運は味方すると言われていますので、目指してみてください。

それでは、思考法や気持ちを変えていくのに必要なことです。左にあげたような基礎的な力が必要だと思います。気をつけてほしいのは③です。もちろんここでの『好きなこと』の中にはゲームは含まれません。一度にすべてを完全に変えていくことは難しいと思います。少しづつでいいので、頑張ってほしいです。

- ① 挫折や失敗を耐え抜く精神力
- ② 不慣れや苦手を頑張る意欲
- ③ 好きなことに対しての集中力
- ④ クヨクヨしない、恥ずかしがらない生き方

さて、ここまで『奇跡は偶然ではない』という視点で書いてきましたが、全体的には精神論的な内容でした。しかしあ大事なことはもう一つあります。それは、『努力した人が必ず成功するとは限らないが、成功した人は皆(隠れた)努力をしている』ということです。陰徳陽報ですね。『勉強の仕方がわからない』と言いかがちですが、勉強の仕方は百百様。定番レシピはありません。とにかくがむしゃらにやってみて、そこから自分に合ったスタイルを確立していくってほしいです。学問に王道はありません。

自分の目標(なりたい自分の姿)に向かって、明るい気持ちで日々生活することで、夢の実現に向かってほしいです。そう、偶然は必然、Lucky はたゆまぬ努力からです。将来皆さん一人一人が収穫する果実は、今皆さんが蒔いている種によるものです。努力をしないことは、自らの運を放棄することです。

魚さばき体験～日南の名産鰆料理に挑戦『受験に勝つお（鰆）！』～

2月27日と28日に、油津漁協婦人部の方々の協力を得て、3年生がクラスごとに魚さばき体験学習を実施しました。挑戦したのは鰆さばき。港に水揚げされたばかりの新鮮な鰆を用意してくださり、5人グループで交代で体験しました。鱗を削り取り、頭を落とし、内臓を取り出して5枚に下ろすといった行程を丁寧に範を示しながら説明をしてください、また生徒が体験をしているときには側についてより具体的に指導してくださいなど、細部にわたって指導をしてくださいました。子どもたちも真剣に取り組み、とても充実した体験活動になりました。

【感想】

初めて魚をさばいたので、始める前は緊張していましたが、やってみると楽しかったです。お手本で簡単そうにさばいていたので簡単のかなと思いましたが、やってみると意外に刃が通らなく、滑ってしまったとても難しく感じました。ついてくれていた方が優しくコツなどを教えてくれたので、少しありやすかったです。あらためて、普段からしている方はすごいなと思いました。

また、さばく機会があればしてみたいです。

鰆さばき体験ありがとうございました。はじめて魚をさばいたので難しかったけど、とても楽しかったです。鰆の皮を取るところが難しかったです。自分たちでさばいた鰆は、お店で食べるよりおいしかったです。今度、お母さんと一緒に鰆をさばいて、刺身で食べてみようと思います。とてもおいしかったです。

ありがとうございました。またいろいろ教えてください。



3年ぶりの3校合同レクリエーション

新型コロナウイルス感染症の蔓延により中止が続いている3校合同レクリエーションが、3年ぶりに桜ヶ丘小学校で行われました。小学生から中学生、保護者の方まで30名弱の参加でしたが、楽しいひとときを過ごしました。

『簡単なストレッチから』という言葉に誘われて私も参加しましたが、なかなかどうして、日頃の運動不足も相まってけっこくな運動になりました。次の日が筋肉痛になったことはいうまでもありません。

子ども達や保護者の方の笑顔や歓声にあふれた楽しいひとときを過ごすことができました。このように、規制が徐々に低くなり、以前の取組が少しずつ帰ってくるような気がします。



研究授業～先生達のがんばり

本年度1年間、先生達も『授業改善』に向けて取り組みました。研究授業は最低一人1回で、2回以上取り組んだ先生もいました。

タブレット等のICT機器を効果的に授業に取り込みながら授業を開催し、子ども達の家庭学習（「がんばりノート」）についていく取組で、学習したこと家庭学習に生かしながら学習事項の定着に向けて頑張っていました。



<3月の主な行事予定>

日	曜	3月	日	曜	3月
7	火	県立一般入試1日目（3年生） リフレッシュデイ	14	火	リフレッシュデイ 卒業生を送る会
8	水	県立一般入試2日目	16	木	第76回卒業式
9	木	巡回相談員来校	17	金	県立高校合格発表 立志式（2年生）
10	金	避難訓練 3年特別校時～15日	21	火	春分の日
13	月	租税教室（3年）	24	金	修了の日
14	火	生徒集会 水曜校時	30	木	離任式